

きずな — 絆 —

会長挨拶

丸森町姉妹都市交流協会 会長 船山 雅弘

日頃より、当協会の活動につきまして御理解と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

早いもので、北見市端野町と姉妹都市を締結してから、今年で20年の節目を迎えます。これまでの交流事業を通して人とモノの交流が生まれ、多くの絆が育まれてきたことは、会員の皆様の御尽力により培われてきたものと感じており、あらためて関係各位に対して厚く御礼申し上げます。

また、今年、丸森町姉妹都市交流協会は役員改選期にあたり、総会後の理事会において再度会長の重責を担うこととなりました。阿部義郎氏の逝去に伴う会長就任から9年、皆様のお力をお借りし何とか無事に過ごすことが出来ました。これも一重に多くの関係者並びに理事、代議員の皆様の御協力の賜と深く感謝を申し上げますと共に、与えられました任期を姉妹都市交流協会の発展のために、再任されました船山和子副会長と共に精一杯働かせていただきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

本年の事業として、北見市端野町との姉妹都市提携20周年記念式典を、8月に北見市において、11月には本町において開催することとなっております。また、恒例になっております端野町との子ども交流の相互訪問や、10月には物産交流が両市町で開催されます。さらに、昨年来、交流の密度が高まってまいりましたカリフォルニア州ヘメット市への中学生の派遣など、今年も盛りだくさんの事業を行ってまいります。いずれの事業に対しても募集人員を超える応募者があり、関心の高さが伺われます。今後ますます事業の充実を図るとともに、意義のある交流活動が出来ます様研鑽してまいりたいと考えております。

最後に、当協会では、多くの町民の皆様が交流事業に参加されることで「交流の輪が大きくなること」を望んでおります。昨年開催いたしました端野町との交流協会代表者によるサミットを契機として、さらなる交流推進のため、各種事業や交流活動のあり方などを検討してまいりたいと考えておりますので、今後とも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

丸森町の姉妹都市

国内 北海道北見市（平成8年8月に端野町と締結）

国外 アメリカ合衆国カリフォルニア州ヘメット市

平成 28 年度 丸森町姉妹都市交流協会総会の報告について

船山会長を議長として、第 1 号議案から第 5 号議案まで審議いただき承認されました。

日時：平成 28 年 5 月 31 日(火) 午後 7 時から 場所：丸森町役場 3 階 大会議室

○議案の審議

- 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について
- 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告について
- 第 3 号議案 平成 28 年度事業計画（案）について
- 第 4 号議案 平成 28 年度収支予算（案）について
- 第 5 号議案 役員の変更について

○平成 28 年度の主な事業計画

1. 国内交流事業

- (1) 北見市端野町への子ども交流使節団派遣
時期：7 月 26 日(火)～29 日(金)
- (2) 北見市端野町からの子ども交流使節団受入
時期：8 月 5 日(金)～7 日(日)
- (3) 北見市端野町行灯交流事業
時期：8 月 6 日(土)
内容：本町ポケットパークに丸森町と端野
小学校の子ども達が作成した行灯を設置
- (4) 「たんの農業・物産フェア」への参加
時期：10 月中旬(予定)
- (5) 「JAみやぎ仙南フェスティバル」への受入
時期：11 月上旬(予定)
- (6) 会員同士の自主的な交流への支援

2. 丸森町・端野町姉妹都市提携 20 周年記念事業

- (1) 姉妹都市提携 20 周年記念事業への派遣（北見市主催）
時期：8 月 19 日(金)～21 日(日)
- (2) 姉妹都市提携 20 周年記念事業への受入（丸森町主催）
時期：11 月 20 日(日)～22 日(火)

3. 国際交流事業

- (1) ヘメット市への親善訪問団の派遣※町内中学 2 年生を対象
時期：平成 29 年 3 月下旬(予定)
内容：ホームステイ及び現地中学校での体験入学

○役員紹介

- 会 長：船山雅弘
- 副会長：船山和子
- 理 事：菊池修一・大内喜一郎・梅津一秋・武藤和代・伊藤純子・伊藤直美
小川和久・渡辺良仁・齋藤哲雄・横塚正己・栗野由三・大槻政雄
- 監 事：佐藤仁一郎・小野百合子

Facebook のご案内

このたび、丸森町姉妹都市交流協会の各種事業などについて、会員のみなさまに情報発信を行うため、Facebook 内に丸森町姉妹都市交流協会のグループページを立ち上げました。登録方法は次のとおりです。

1. Facebook の会員になる
2. 「丸森姉妹」に友達申請を行う
(会員名をメッセージで送信いただくと助かります。)
3. 「丸森姉妹」が丸森町姉妹都市交流協会のグループページに招待いたします。

みなさま、友達申請お願いいたします。

※「丸森姉妹」は丸森町姉妹都市交流協会事務局のアカウントです。



昨年度の端野農業物産フェア



昨年度のヘメット市訪問の様子

平成 27 年度ヘメット市親善訪問団派遣事業 事業報告

平成 28 年 3 月 20 日～31 日の 12 日間にわたり、アメリカカリフォルニア州ヘメット市へ 10 名（中学生 8 名、引率 2 名）の訪問団を派遣しました。団員達は現地の家庭にホームステイをしながらダートマスミドルスクールに体験入学をし、ホストファミリーや生徒たちとの交流を深めてきました。ホームステイ終了後は、ユニバーサルスタジオハリウッド、グランドキャニオンを見学しました。

団員達はヘメットでの生活を通して、文化や学校の違いを学ぶことができたようです。「物が大きい」「料理の味が濃い」「男女の距離が近い」といった気づきは、現地に行ったからこそ感じる事ができたことだと思います。

なお、5 月 31 日の総会終了後に報告会を行い、団員達は写真を紹介しながら現地での活動を報告しました。



ホストチューデントと一緒に



折り紙について現地中学生に紹介



グランドキャニオンにて



報告会の様子

ヘメットでの思い出

丸森中学校 一條慎平

今回の体験はもう二度と体験できない経験になりました。アメリカという大国に 12 日間そしてホームステイが 1 週間も出来たというのは、本当に素晴らしい事だと思います。

そして、ヘメットのダートマスミドルスクールの生徒の皆さんは気軽に話しかけてくれて、すごく嬉しかったです。日本文化が大好きな子がいて、その子に五十音の表を書いてあげたら、すごく喜んでくれたのが印象に残っています。けれども、日本を中国や韓国と間違っている人もいたので、もっとアメリカ全土に日本を宣伝すべきだなと思いました。

この訪問で一番思ったのは、まだ英語を話す力が足りないなという事です。なので、もっと勉強して、大人になってからファーストクラスでアメリカ、そしてヘメットを訪れたいです。

今年は端野からも小学生が丸森にやってきます！

平成 28 年度ふるさと子ども交流事業

姉妹都市交流協会の夏の事業、ふるさと子ども交流事業が今年も実施されます。丸森町からの訪問団派遣は 7 月 26 日(火)~29 日(金)の日程で、端野町訪問団は 8 月 5 日(金)~7 日(日)の日程で丸森町にやってきます。

北見市では、たまねぎ収穫やカーリング、カヌーなどの体験を行い、端野の友達と思い出をたくさん作ってきます。

丸森町では、コテージに端野の友達と一緒に宿泊したり、本町ポケットパークに行灯を飾り、齋理幻夜を端野の団員と一緒に見学したりし、丸森の夏を楽しみます。

丸森町からの訪問団の団長は、3月まで丸森小学校校長だった横塚正己さん(丸森町姉妹都市交流協会理事)、副団長は婦人会などで活躍されている伊藤純子さん(丸森町姉妹都市交流協会理事、4人のお子さんを持つお母さん)です。お二人が温かくそして厳しく接してくれることで、団員達は丸森の代表としての自覚を持ち、北見市で元気いっぱい活動してきてくれることでしょう。



第1回事前研修会

行灯交流のお知らせ

8月6日(土)の夜 18 時頃から、仙台銀行向いの本町ポケットパークにふるさと子ども交流の団員と端野小学校4年生が作成した「行灯」を飾り、交流を行います。同日に齋理屋敷周辺では「齋理幻夜」、やまゆり館駐車場では「TAKE1060」も開催されます。

みなさま、ぜひ子ども達が作成した行灯を見にいらしてください。

※駐車場は齋理幻夜駐車場をご利用ください。

新規会員募集中

* 姉妹都市交流協会について *

当協会は、姉妹都市(友好都市を含みます。)との交流を通じて、教育・文化・スポーツ等の交流を行い、国外・国内を問わず相互の友好を深め、もって姉妹都市との友好を図るとともに、丸森町のまちづくり推進に寄与するために設置された団体です。

姉妹都市交流・国際交流に興味のある方ならどなたでもOKです。是非お知り合いの方にもお声掛けください。

会員特典として、会員が端野町を訪問した場合(旅行の際の立ち寄りも可) **会員一人当たり5,000円を助成します。**

(ただし、年間一人一回限りです。)

○個人会員年会費:2,000円

○法人会員年会費:8,000円

※ 詳しくは、事務局までご連絡ください。

丸森町姉妹都市交流協会事務局

住所:宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地

(丸森町役場 企画財政課内)

電話:0224-72-3024 Fax:0224-72-1540

E-mail:kikaku@town.marumori.miyagi.jp

事務局長 谷津 晶一

S T A F F 長門 修・横塚千恵・加藤浩之

島貫和己・菅野 寛・伊藤友美

【編集後記】

先日、ヘメット市親善訪問団の報告会が行われました。報告によると、ホストファミリーはスマートフォンの翻訳機能を使いコミュニケーションをとりたくれたようで、団員達は大変嬉しかったそうです。団員達が嬉しかったのは、スマートフォンを使ってくれたことではなく、ホストファミリーが会話をしようとしてくれたことだと私は感じました。交流の原点は会話だと思います。団員のみなさんには、今回、英語でスムーズに会話ができなかった悔しさをばねに、さらなる英語力を身につけ、世界中の人と会話ができるようになってほしいです。(伊藤)